JCI 公益社団法人 新居浜青年会議所 広報誌

かさぼう

57号

NIIHAMA JUNIOR CHAMBER PRESS 2021 No.57

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と、情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

What is JC?

JC（青年会議所）とは、「明るい豊かな社会」の実現を同じ理想とし、
次代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの
指導者たらんとする青年の団体です。
現在、日本全国に696の各地青年会議所が存在し、
さらに世界の国及び地域に121の国家青年会議所を数え、
約16万人が国際的な連携をもって活動を行っている世界組織です。

創立記念祭
動画公開用

新居浜JC HP

Niihama Saijo

理事長挨拶

●2021年度スローガン●

熱き挑戦

第56代理事長

白　石　尚　寛

「生き残る種とは、強いものではない、知的なものでもない、変化に適応したものである」

そして、まさに今の時代だからこそ、変化という「挑戦」が必要だと確信しています。

「熱き挑戦」　その言葉を胸にスタートした2021年。

2020年、世界中を巻き込み暗く深い奈落の底に落としたコロナウイルス。
今までの日常が失われ、混沌とした空気が蔓延し、誰もが不安になる時代。
笑うことも抱き合うことも声をあげることもできない。
そんな息苦しい世の中を子供たちに残したい人は誰一人いません。

2021年、新居浜青年会議所は42名でのスタートとなり、人数としては、ここ近年でも一番厳しいスタートになりました。

それでも恐れることはありません。熱く語り合う一生の仲間がいるからです。そして、その仲間やその家族やこの新居浜のために挑戦していくと決めたからです。

コロナがどれくらい続くかは誰にもわかりません。ただ、世の中には、答えが決まっているものなど何一つないと思います。

コロナを打ち負かすことはできなくとも、コロナ禍の中、しっかりガイドラインに沿って、我々のちゃんとしたやり方で挑戦してみせたいと考えていました。

残りわずかの2021年度になりましたが、最終最後まで「面白い」「感動した」「楽しかった」そんな笑顔をみんなでつくっていければと考えています。

そして、2022年に向け、世の中全体が暗くとも、我々は必ず「熱き挑戦」の先に明るい豊かな社会を築いてみせます。

これからも新居浜青年会議所をどうぞよろしくお願いします。

委員会紹介　会員拡大特別会議

我々が会員拡大活動を行わなければ、まちの未来を考えて行動する人が減少し、組織の弱体化に伴う運動発信力の低下で、持続可能な社会に向けて運動を展開していくことが難しくなります。メンバー一人ひとりが会員拡大の目的を理解し、組織全体で意識を高めることが、持続的な会員拡大へと繋がります。私たちが、意識変革を促す最前線に立ち、メンバー全員で地域を想い共に行動する仲間を一人でも多く迎え入れ続けることが必要です。

まずは、組織全体で継続的な会員拡大に取り組む体制を構築するために、建設的な意見が組み交わされる拡大会議を実施し、意見を集約して各委員会と共有することで、全メンバーの会員拡大に対する意識を高めます。そして、自己成長に繋がる魅力ある組織と認識していただくために、入会動機に繋がる我々の目的と活動で得られる機会やメンバー情報を載せたパンフレットを作成することで、多くの方にJCI新居浜を的確に伝えます。また、我々と共に活動する仲間になっていただくために、経験を重ねたメンバーが伝える説明会を実施し、仮会員と入会候補者の疑問や不安を取り除き、参加者に入会の意思を固めていただきます。

新居浜青年会議所はそれぞれの「修練」の場所です。たくさんのメンバーと子供たちや地域のために汗を流し、笑いあい、語り合い一生の仲間を作ることができる会です。私達が大事にしたいのは「挑戦し、行動すること」です。まずは気軽にJCの門を叩いてみてください。

委員会紹介　青少年育成委員会

本年度の青少年育成委員会は、従来のキャンプ事業に加えて、献血事業の2本立てでのスタートを切りました。コロナ禍だからこそ、改めて感じることが出来た熱く挑戦することの大切さを胸に委員会メンバー一同、取り組んで参りましたが感染拡大の大きな荒波に飲まれる形で、キャンプ事業を断念することとなりました。この悔しい思いを糧に新たな事業の構築に取り組んでいます。
社会情勢の変化に伴い、我々も時代に即応したものへと進化していかなければならないと身をもって感じさせていただきました。

しかしながら、どのような時代背景においても大切なものの存在も改めて感じることが出来ました。それが「次代に繋ぐ献血」事業であります。シニアの先輩方やメンバーのご協力のもと、当日は受付138人、献血者115人と素晴らしい実績を残すことができました。

コロナ禍だから出来ること、出来ないこと。コロナ禍だからこそ、やらなければならないことを委員会メンバー一同で感じることが出来ました。

更には本事業においても、次代を担う青少年に向けて、熱く挑戦し、改めて故郷新居浜を愛する心の醸成につながるよう委員会メンバー一同で取り組んでいきます。